

島根県水産技術センター 漁況情報 平成 18 年 7 月 24 日発行

トビウオ通信 (H18 第5号)

<http://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/> (TEL 0855-22-1720)

《平成 18 年度第 2 回日本海海況予報》

当技術センターを含めた北海道から山口県までの水産研究機関と独立行政法人水産総合研究センター日本海区水産研究所が協議して、とりまとめた第 2 回日本海海況予報（平成 18 年 7 月 10 日付け）が発表されました。本号ではその概要をご報告します。

今後の海況見通し（2006 年 7～9 月）

- (1) 隠岐諸島北方の暖水域は、やや南下する。
- (2) 島根沖および山陰・若狭沖の冷水域の張り出しは、やや強い
- (3) 対馬暖流の表面水温は、平年並みで経過する
- (4) 対馬暖流の 50m 深水温は、日本海西部および北部とも 平年並みで経過する

2006 年 3 月～5 月までの経過

- 3 月に大和堆沖と隠岐諸島北方に見られた暖水域は徐々に南へ移動しました。
- 3、4 月に隠岐海峡～丹後半島沖に見られた暖水域は東へ移動しました。
- 島根沖冷水域の規模と接岸状況は平年並みでしたが、山陰・若狭沖の冷水域は大きくて接岸していました。
- 対馬暖流域の表面水温は 3 月は平年並みか～やや低めで、隠岐諸島北方はかなり低めでした。
- 4 月は日本海のほぼ全域で平年並み～やや低め、5 月は一部の海域を除いてやや低め～かなり低めとなり、はなはだ低めの海域も広範囲に及びました。

現況（2006 年 7 月）

- 6 月に隠岐諸島北方にあった暖水域はやや東へ移動しました。
- 山陰・若狭沖冷水域は 6 月に比べるとやや沖合へ後退しましたが、島根沖冷水域は依然として大きくて接岸傾向にあります。
- 日本海西部の表面水温は沖合の冷水域ではかなり低めの海域が広がっているものの、沿岸域ではやや高めの海域も西寄を中心に広がってきています。